

地域社会史

地域社会のルーツから現代をフォーカスする

講座内容

わたしたちの身近にある地域社会には、どのような歩みと文化があるのかを垣間見ることで、わたしたちへ何かを語りかけています。今回は、海の道(オーシャン・ロード)に視点をあてて、地域社会の文化や風習から、わたしたちの生活への道標と明日へのヒントを模索していきます。

期 間	5月25日～7月20日	受講料	12,500円
曜 日	土曜日	定 員	20名
時 間	10:00～12:00	会 場	横浜・関内キャンパス
回 数	全5回	持ち物	筆記用具
教 材	講師が毎回レジュメやプリントを用意します。		

講座スケジュール

回数	日 程	内 容
1	5月25日(土)	鳴門海峡・渦の道は迷い道 明石海峡から淡路島、そして鳴門海峡を渡ると四国へと道が繋がりますが、その光と影を考察します。
2	6月 8日(土)	しまなみ海道は、恐怖の道。海賊には気をつけて。 しまなみ海道は風光明媚な道ですが、海賊の出現に気を付ける必要がありました。その知恵は何かを考えます。
3	6月22日(土)	関門海峡は見た。 関門海峡は歴史の生き証人として時代の潮の目を目撃していました。目撃証言を検証します。
4	7月 6日(土)	津軽海峡冬景色は荒波にもまれていた 津軽海峡の今昔は、日本経済の栄枯盛衰の象徴ともいえます。その理由を考察します。
5	7月20日(土)	六浦海道(街道)は幕府の生命線であった かつて六浦キャンパスの地は重要な拠点でした。鎌倉幕府の栄光盛衰を検証します。

講師紹介

加藤 壽宏(かとう としひろ)

本学国際文化学部非常勤講師

主要著作：「日本における公共事業と港湾・空港施設の現状と課題：社会資本整備と財政投融资を中心に」(日本港湾経済学会喜多村賞・奨励賞)、『海と空の港大辞典』(分担執筆)、『横浜のシルクロード：生糸一港制にみる社会・経済・文化の諸相』ほか